

# 女性がいぎ

NO.102

発行者 岸和田女性会議  
 発行日 2021年9月1日  
 連絡先 TEL 080-4984-5226  
 送付先 〒596-0042 岸和田市加守町4-6-18  
 岸和田市立男女共同参画センター気付  
 URL: <http://joseikaigi.web.fc2.com/>

## 2021年度 第33回岸和田女性会議総会

日 時 2021年4月10日(土)13:30~15:00  
 場 所 市立男女共同参画センター  
 参加人数 39名

来賓  
 永野市長 河合市議会議長  
 河内人権・男女共同参画課長  
 船津男女共同参画担当主幹  
 西川男女共同参画センター所長



女共同参画推進プランを策定、これを皆さんと共に進めて、男女共同参画のまちづくりをしていきたい」と話されました。



晴天の午後、33回目の総会を開催し、三密に気遣いつつ2年ぶりに会員が一堂に会しました。冒頭、宮路代表より「この30年余りを顧みると、札幌地裁で『同性婚不可は違憲』の判断が出、企業の案内言葉が『レディース&ジェントルマン』から『ハロー エブリワン』等に変更されるなど、性に関する社会意識の変化は感じられるものの、オリンピック関連で女性蔑視発言があり、もし海外の動きに後押しされなかったら当人たちは辞任していたでしょうか、それでも結果をみると日本社会が少しは変わったと言えるかもしれない」また「女性会議の掲げる『男女平等参画社会の実現』『人権を守り、平和維持のための活動を展開』という目的に向かって、今後も変わることなく前進していかなければ」との挨拶がありました。

その後、河合市議会議長より「国や地方自治体でも一生懸命施策を進めているにも拘らず、なかなか男女共同参画社会の実現には至っていない。女性の総合職や管理職は依然として少なく、就労する女性に対するサポートが遅れるなど、男女格差の是正ができておらず、女性の地位向上についても課題が多い。議会としても今後、職場や地域など身近な所での意識の啓発や、働く女性がその能力を全力で発揮できるような、環境づくりを整備するようしていきたいと考えている」とのご挨拶をいただきました。

続いて、永野市長はご挨拶の中でコロナ禍における当市内の現状についても触れられ「本市では、生活保護に至る前の家賃補助や生活福祉資金についての申請が激増しており、市民の生活にコロナの波というのは間違いなく訪れている。市民の生活を守りながら経済を少しずつ回していかなければならない。感染者の面でも大阪は非常に多く目も当てられない状態で、本市でもワクチン接種の準備を進めているが、高齢者に接種する目的についても、状況は依然として厳しい」。男女共同参画に関することとしては「この3月に岸和田市は第4期きしわだ男

議事 2020年度事業報告  
 2020年度収支決算報告  
 2020年度会計監査報告  
 役員改選  
 2021年度事業計画案  
 2021年度会計予算案  
 以上すべて承認されました。

今回は、コロナ禍の中での開催につき、「第2部」は設けませんでした。会場内が密にならないよう案じる一方、それでもより多くの会員の参加を念じていたところ、39名の出席があり、総会は温かい雰囲気の中に終了致しました。(実川 孝子)

## 2021~2022年度新役員紹介(敬称略五十音順)

代表世話人	熊取ちるみ	中川 麗子	◇馬場由美子	
事務局長	◇小南ひとみ			
事務局員	◇安藤 長	梅崎美智子	貝塚真知子	実川 孝子
	竹末美恵子	西村 令子	◇宮路 良江	
会 計	◇川本佐知子			
会計監査	坂東 桂子	松原 和子		
世話人	☆青山 織衣	池田 啓子	岩崎 郁代	☆大浪 雅子
	尾矢千衣子	加賀利雅美	木下 幸子	小生富士枝
	☆神藤 香	☆田中 市子	辻 満里子	殿本マリ子
	中 眞茅子	☆永橋 馨	☆西植 智子	☆長谷川秀美
	松田 真弓	☆溝口 信子	南 淳子	柳澤 早苗
	山本 一美			



新代表事務局メンバー

☆印は新しいメンバー ◇印は役職変更のメンバー \_\_\_\_\_は団体からのメンバー

(退任者) 須古星 紗智子、田中 幸穂、春崎 百合子、森下 明美、山中 眞知子  
 ※以上の方々は長くお世話いただきましたが、このたび退任されました。ありがとうございました。

# ごあいさつ

市民環境部長 谷口 英樹

人権・男女共同参画課長 河内 みどり

本年4月の人事異動によりまして、市民環境部に配属となりました谷口でございます。

岸和田女性会議のみなさまにおかれましては、日ごろから本市の男女共同参画施策の推進のみならず、本市のまちづくり行政全般につきまして、ご尽力、ご協力をいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

今、私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けています。ここで注目しなければならないのが、この影響はすべての人に対し同じではないということです。社会生活のあらゆる領域において、女性がより大きな影響を受けていると言われており、改めてジェンダーによる男女の差別を解消し、個々の能力が活かされ、安全で安心して暮らせる社会を作っていくことの大切さを感じさせられたところです。

今年度は、「第4期きしわだ男女共同参画推進プラン」の計画初年度にあたります。「始めよければ終わりよし」という言葉が示すよう何事も最初が肝心、今期計画10年のスタート年の重要性を認識し、心して取り組んで参りたいと考えております。

岸和田女性会議のみなさまには、引き続き男女共同参画社会の実現に向け、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

4月の人事異動で人権・男女共同参画課長に着任いたしました、河内でございます。

岸和田女性会議の皆様には、男女共同参画推進の取り組みのほかにも、日ごろから様々なところでたくさんのお力添えをいただいております。どうもありがとうございます。

皆様とのご縁をいただいた時、私は20歳代でした。今こうして、ご挨拶を書かせていただいているなんて、当時の私には全く想像できないことです。女性の課長はもちろん、係長もまだ少なく、女性政策が「女性対策」と間違われた時代です。

時は流れ、人々の生活様式や価値観が多様化し、社会の仕組みも変化しています。

人の意識も大きく変わり、と言いたいところですが、男女共同参画社会の実現には課題がたくさんあり、地道な取り組みを続けるだけでは成果につながりにくい現状があります。

一方で、影響力のある人の発言ひとつで社会が大きく動き出すのを見ると、新しい風が吹いていると感じます。

第4期のプランを推進する重圧に押しつぶされそうな毎日ですが、先日、男女共同参画センターで皆様の懐かしいお顔を拝見する機会がありました。

ああ、ここに一緒に取り組んでくださる方たちがいる…。長きにわたり精力的な活動を続けておられる皆様に鑑み、職場の仲間と手を携え、誰もが暮らしやすい社会をめざして男女共同参画の推進に取り組んでまいります。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 部会に入って本音で語り合いませんか！ 部員募集！！

### 女性学サークル 第2木曜日 13:30～

部長 貝塚 真知子

- 目標・男女平等参画社会及び様々な人権に関わる問題に取り組む
- ・女性の地位向上を目指すための活動を推進させる
- 内容・憲法についての学びを進める
- ・選択的夫婦別姓法案について学び、講座を企画する

### サロン・ドゥ・GOMI 第3日曜日 10:00～

部長 尾崎 敏子

- 目標・岸和田のゴミ問題や環境問題を、男女平等の視点で考え、行動に繋げる
- 内容・環境やプラスチック製品について学習する
- ・担当課との懇談
  - ・エコキャップ運動を広める

### 福祉部会 第2水曜日 10:00～

部長 西田 幸子

- 目標・高齢者になっても住み慣れた地域で自分らしく生きていくため、介護、医療、住まい方について調査、学習し、問題解決につなげる
- 内容・「高齢者の生き甲斐づくり」を考えるため、地域福祉計画を学習、担当課とも懇談、市議会議員へも働きかける
- ・介護保険課からの回答内容の進捗状況を聞く
  - ・CSWと生活支援コーディネーターの役割と実績について聞く

### 悠遊・UBAステーション 第4火曜日 10:00～

部長 柳澤 早苗

- 目標・高齢者となっても、自分らしく生きていくための準備をしておく
- ・市民合葬墓建設の早期実現に向けて活動する
- 内容・市民合葬墓の進捗状況について水とみどり課との話し合いをもつ
- ・「おひとりさまの終活」を考える（自分の思いをどう伝えるか）

### ワーク部会 第2金曜日 19:00～20:45

部長 本郷 元子

- 目標・コロナ禍で明らかになった「女性の働き方改革」の問題点を学習し直す
- 内容・2年前に学習した「女性の働き方改革」で懸念されたことが、現実のものとなって表れてきた。その時の資料などを基に、原点に返って学習し直す

### お針子サロン

- 目標・作品作りを通して仲間との交流や学習を深め、男女平等参画社会を目指して活動する

お問い合わせは事務局まで TEL 080-4984-5226

## 課題研究「女性差別」について ～女子高生の質問に答えて～

緊急事態宣言下の5月27日、大阪府下の高校に通うシリア人のAさん(岸和田市在住)から電話があり、高校の課題研究で、『女性差別』のテーマで発表するので、女性会議に話を聞きたいとのことでした。

宣言が解除された7月14日、市立男女共同参画センターにてAさん、彼女の指導教官であるB先生と女性会議6名が一堂に会しました。Aさんがこのテーマについて調べる中で印象に残ったのは森喜朗前五輪組織委員長長の発言で、「先進国である日本に女性差別は無いと思っていたのに」と驚いたそうです。

5年前に来日されたAさん、シリアでは「女の子は学校に行かなくていい、早く結婚したらいい」という風潮があるそうで、高校1年のときに英語の授業中、マララ・ユスフザイさんの「女子教育への投資の重要性」のスピーチを聴いて大変感動されたとか。

以下はAさんの質問に答えたものです。

＜女性差別について＞

- ・地域には性別役割分担意識がまだまだ根強くあり、かしまし座で出前公演をしたり、かしましフェスティバル等を通じて長年啓発活動をしている。
- ・町会役員のごほとんどが男性。だんじり祭りも男の祭り、女性はだんじりに乗れない。また、生理中の女性は神社の鳥居を潜ったらいけないとか、国技の相撲においても女性は土俵に上がれないとかいうしきたりが今もある。
- ・選択的夫婦別姓はなかなか実現せず、ほとんどは夫の姓を名乗る。世界経済フォーラムで日本のジェンダーギャップ指数は120位、女性は低賃金で非正規なケースが多い。配偶者の呼び方を“主人、嫁”ではなく“夫、妻、パートナー”にするなど「言葉

から意識を変えていきたい。

- ・差別をなくすには小さいときからの教育が非常に大切で、学校では男女混合名簿も増えており、徐々に抵抗感はなくなっていくのでは。

＜『女偏の漢字』について＞

かしまし座で作った漢字パネルを披露し、女偏の漢字は900以上もあるのに男部男偏の漢字は無いことを説明。漢字ができた頃の社会状況、人間の営みが深く関わっていると思われる。

＜ハラスメントについて＞

両者の関係性によって受け取り方が変わる一方、被害者が声をあげにくいので、声を出せる窓口が必要ではないか。また加害者は意識せずに繰り返す傾向があるので、止めさせるため教育や啓発が必要。

＜DVについて＞

DVは犯罪である。デートDVとは若い恋人たちの間でのDVのこと。人権を束縛されても気が付かない場合があり、岸和田市立産業高校の生徒がデートDVの冊子を作成した。

Aさん、B先生からは「アラビア語の国は多いのに、日本ではアラビア語を話す人が少ない」「子どもにも母語も教えてあげないといけないが、アラビア語の出来る先生探しが難しい」「日本語がわからない親のために子どもが学校を休んで通訳するなど大変」等のお話も伺いました。

来年は岸和田市市制施行100周年に当たります。岸和田を外国人にも住みやすいまちにしていけたら、との言葉で話し合いの締め括りをしました。

(安藤 長)



## おめでとうございます

### 春の叙勲で南 淳子さんが瑞宝双光章を受章されました

## 「行政相談」って

南 淳子

昭和36年7月1日、行政相談委員の前身「行政苦情相談協力委員」が全国に882人委嘱され、行政相談制度が誕生しました。翌37年9月に「行政相談委員」と改称され、昭和39年度3605人が全ての市町村に配置されるようになり、本年60周年になります。

「行政相談業務は、国民の行政全般についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決や実現の促進を図るとともに、それらを行政の制度及び運営の改善に反映させる業務である」と謳われています。

現在大阪府は6地区に分かれていて、岸和田市は堺市から岬町までの13市町からなる泉州支部に所属しています。委員数は、府下198人中泉州支部は43人で

岸和田市では4人の委員が担当し、毎週月曜日午後1時～4時、輪番で市役所1階の相談室で相談を受けています。

国や府に対する相談は少なく、私自身の経験等から対応し手に負えない時は一緒に居て下さる職員さんに助けていただいています。相談に来られた方がすっきりした様子で帰っていただける時は、良かったとホッとします。

5月の市民フェスティバルへの参加、10月の行政相談週間には、南海岸和田駅周辺でティッシュを配布しながら市役所内で相談に応じていることなどをお知らせしています。委員研修等で府下の委員さん方とお顔を合わせた時には、情報交換等で話が弾み教えていただく事も多く、良い経験をさせていただいています。



# 選択的夫婦別姓って!?

【講師】 堀江 珠喜さん (大阪府立大学名誉教授)

7月17日(土) 14:00~16:00 市立男女共同参画センター 参加者35名



選択的夫婦別姓はもちろん、何事についても、人の考え方は様々で、そこには「男女差」より「個人差」を感じる。この個人差を形成するのは、主に次の3項目ではあるまいか。

- ①時代差 (同じ家系においても、祖母・母・娘に、時代の違いはライフスタイルや考え方の変化をもたらす。)
- ②地域差 (良し悪しの問題ではなく、歴史・伝統文化を誇る街と、私が暮らす芦屋のような新興住宅地では、住民意識が異なるだろう。ただ芦屋は約百年前に大阪の豪商が住居を移し、夫が都会へ通勤するので、昼間は「女性の街」となった。船場のしきりから解放され、神戸文化をも吸収し、元「お嬢様」の陽気な妻たちは「芦屋マダム」となり、その子孫たちは、20世紀末に、日本初の女性市長を誕生させた。これを契機に、各地で女性首長が選ばれるようになった事実は否めまい。)
- ③経済格差 (しかるべき教育、教養を身につけるには財力が必要。それが合理的・理知的思考力・判断力につながる。)

このようにして「個人」が形成される以上、「別姓」選択者の事情や考え方も様々で、決して私が代表して発言できるわけではないことをご理解願いたい。

前置きが長くなったが、「選択的夫婦別姓」反対派の主な理由は「家制度の崩壊」だ。しかし戦後の戸籍形式は、戦前の家制度をもはや継承していない。

それでも「家制度」的スタイルを存続させるためには、次の3項目が必要と考える。

- ①先祖代々の墓(少なくとも3代以上前まで迎れること)
- ②先祖から受け継いだ財産
- ③代々伝わる家業

これらの条件を備える家も「地方」には多いかもしれないが、大都会ではほぼ絶滅している。事実上、家制度は崩壊しているのだ。だからこそ、その幻影に取り憑かれた人々が、選択的夫婦別姓を目の敵にするのかもしれない。

「家制度で親族を管理しないと入院・治療に困る」との旨、先日、テレビ番組で女医コメンテーターが発言した。それこそが日本の福祉政策のお粗末さを露呈している。

戦前のように本家が一族を統率する資産を保持できない現代、親戚の把握など無理に決まっているのではないか。「家」に押し付けるのなら、我々はなんのために介護保険料や健康保険料を払わされているのだ。

さて「別姓」には、①法律婚で通称使用 ②事実婚とがある。さらに②には、(A)住民票を同一にし、「婚姻届未届けの妻」などと内縁関係を明記する場合 (B) 住民票も別でお互いが「世帯主」の場合、がある。

(A)のメリットは、勤務者の死により、退職金や遺族年金が内縁関係の配偶者に支払われ得ることだ。大阪府立大学では、過去に例がある。(B)においては、この厚遇は難しいかもしれない。

それでも私が(B)にこだわるのは、「戸籍筆頭人」や「世帯主」との言葉に疑問を抱くためだ。たとえ選択的夫婦別姓が認められても、このような記載がある限り婚姻届を出さないかもしれない。デジタル庁がマイナンバーを活用し、「戸籍」を「個籍」にして欲しいものだ。

幸い、私が男性と同一賃金を得る職種に就き、経済的に自立できているので、法律婚のメリットもあまりない。(ちなみに入院・手術においても事実婚で大丈夫だし、生命保険の請求人もしかり。)

やはり自己主張を通すには、経済的基盤が必要なのだ。そもそも日本の法律では「夫の氏または妻の氏」のどちらを選んでも良く、一応は「平等」である。

しかし一定数の妻が夫の氏を不愉快、不便を感じながらも選ぶのはなぜか。「選択的夫婦別姓」だけを切り取って考えるのではなく、このまわりの事情に目を向けるべきだろう。

要するに、女性の社会進出が遅れ、賃金が低く、昇進の機会も少ないことが問題なのだ。まずは、議会などでのクォータ制の導入を検討されたい。

メディアにも問題は多い。天気予報で「洗濯日和」などと告げる必要があるだろうか。専業主婦が朝、まず洗濯をして.....との昭和のマインドから放送局が成長していない証拠だ。CMにも、女性が家事をする前提の企画が多く、子どもたちもそのような「刷り込み」を受けて育つ。

さて、私の女友達、同姓の息子の孫より、結婚改姓した娘の孫のほうに親近感を抱く傾向がある。そう、このような母系家族がより自然で、父系主義の「家制度」の対極に位置する。それゆえに、危機感を覚える後者は、せめて「同姓」による「絆」を求めるのだろう。そんなものは幻想なのに。

このような保守派に「アイデンティティ」などと、彼らの理解を超える言葉を用いて恐怖と嫌悪感を与えてはならない。

「選択的夫婦別姓」は、あくまでも女性がフルタイムの仕事を支障なく続け、税金と年金を払いながら結婚・出産をするため、というのが、彼らに対する説明としては、最もわかりやすかろう。

相手を知り、戦術を考えるべし。  
なんらかのご参考になれば幸いである。



### <アンケートから抜粋>

- ・先生ご自身の立ち位置を明確にされた上でのお話がわかりやすく興味深かったです。
- ・「個」が基になる制度設計が成立することを望みたいです。
- ・夫婦別姓を考える機には「女性は経済的自立ができていないから」には納得。
- ・クォータ制を法制化させなければ女性に関する問題の進展は暗いままだと思います。
- ・別姓を国が認めないのは、相変わらず女性に嫁意識を持たせたいからだだと思います。
- ・なぜ別姓が駄目なのかももう少し原因となっている部分を聴きたかった。



### <講師のお話をお聞きして>

自分自身が結婚するときは、二人姉妹の長女だったのでもしかしたら『婿養子』と…？女性が男性の姓になるときは『嫁養子』とは言わないですね。今でも『婿養子』という言葉は聞くことはあります。それだけ女性が男性の姓を名乗ることは当たり前で、逆は有難く養子として身分保障もして迎えるということなのではないかと…。この様にいまだに「家制度」の名残が脈々とあるような…。だから、反対する輩がいるのだと思います。家族崩壊なんてとんでもない飛び火です。同姓でも崩壊している家族もDV夫もいます。(中川 麗子)

現在「夫婦別姓」には法律婚で通称使用と2パターンの事実婚があることを理解しました。それぞれにメリットとデメリットがあるようですが、夫婦同姓を選ぶよりは金銭面を考えるとデメリットが大きくなるようです。姓名に個人の尊厳を主軸に考える人は、金銭面と心を天秤にかけどちらかを選ぶのでしょうか。

「選択的夫婦別姓」が法律上認められると現行の法律婚と同等になり金銭面を考慮せず選ぶことができるということでしょうか。世帯主や戸籍筆頭人などの記載については、変わるのでしょうか。子どもの姓はどうなるのでしょうか。更なる疑問が出てきました。

家族の多様化について法律が追い付いていない状態なので、「選択的夫婦別姓」が今後どのように法的に対応されるのか注目していきたいと思います。(西村 令子)

## お知らせ

### リモート講演会

仮称

## 「虐待・DVを考える」

講師

## 松林 三樹夫さん

(松林カウンセリングルーム)

とき

12月5日(日)

13:30~15:30

ところ

岸和田市立  
男女共同参画センター

## 『第4期きしわだ男女共同参画推進プラン』策定!!

1992(平成4)年に「きしわだ女性プラン」、2001(平成13)年に「第2期きしわだ女性プラン」を策定、2011(平成23)年に待望の『岸和田市男女共同参画推進条例』が施行され、「市は、男女共同参画の推進を主要な政策と位置づけ、市、市民、事業者及び教育関係者が協働して、男女共同参画のまちづくりに取り組む」と宣言しています。同年に「岸和田市男女共同参画推進計画—第3期きしわだ女性プラン」、そして、2021(令和3)年3月「第4期きしわだ男女共同参画推進プラン」が策定されました。

計画の基本理念は「誰もが暮らしやすい社会にするために男女共同参画を実現するまちきしわだ」と謳ってありますが、『岸和田市男女共同参画推進条



例』の認知度も25.6%、男女共同参画センターの認知度となると11.3%と低いのが現状です。

性別役割分業の意識が地域にはまだまだあり、基本理念に基づいた4つの基本目標のまちづくりが絵に描いた餅にならないよう、岸和田市が核となり、市民、事業者、教育関係者が協働で推進して実効性のあるものにしていかなければなりません。

そのためにも『第4期きしわだ男女共同参画推進プラン』が策定されるのを機に『岸和田市男女共同参画都市宣言』を行い、全市的に、また地域において周知、4者が協働で積極的に推進、あらゆる分野に基本理念が浸透するようしていかなければならないと思います。

(中川 麗子)



## 「コロナウイルスが 人類にもたらしたもの」

阿笠 清子 (劇作家)

2020年12月29日、誕生日でも何かの記念日でもない、ごく普通の年末の一日に過ぎないのですが、私にとっては、止まっていたエネルギーという時計が、約1年ぶりに動き出した日でした。1月半ばに中国からの観光客を乗せたバスの運転手が、新型肺炎に感染したというニュースは、恐らく大多数の人にとって「ふ〜ん」程度のものだったと思います。が、2月の大型客船内で新型コロナウイルスに集団感染の報道は、日本国中を震撼させました。その後ある数字の増加に伴って人々の生活は大きく変化し、私も、何かしなければとの思いに駆り立てられるだけで、何も出来ないまま季節は移ろうばかりでした。

そんな中で突然12月29日に、10年前に手がけた舞台『山の動く日来たれ』が湧き上がったのです。与謝野晶子たち4人の女性をもう一度今の世に蘇らせ、私の思いを語ってもらおう、いやそれだけでなく、コロナ後の社会に向けて何をすべきかを訴えよう、などなどの発想が次々と浮かび、これこそが私のやるべきことだと、ようやくふっ切れた思いでした。決めたらすぐ行動に移す私ですから、年内に役者を手配し、21年の年明けと同時に会場を押さえ、脚本作成に取りかかりました。何も出来ない中でとにかく情報の波に流されまいと、ひたすら取り置いた<sup>テレビ</sup>新聞記事が、私の心の曇りをぬぐってくれました。TVなどで無尽蔵に流れる情報は、耳から入って頭の中を素通りしていくだけで、心に留まるものがない。にも関わらず、絶えず気になって仕方がない。この現象を振り払ったとき、私は自分がとんでもない勘違いをしていたことに気がきました。“全人類が同じ環境の中で歴史の1ページをめくった”のではなく、“歴史のページは全人類の人数分、違った形でめくられた”のです。そしてそれが彼我を分け、未来にまで及ぶかもしれない「分断」や「差別」を生み出し、「不要不急」の名のもとに多くの「必要なもの」が次々と消されていきました。私のやってきた演劇も決して「不要不急」なものではなく、オンラインのみで成立するものでもなく、対面でやってこそその文化だと思っています。今こそその演劇で、

私の知り得たこと、感じたことを訴えよう。人類愛に溢れた、私の大好きな晶子さんに手伝ってもらって。

世界中が困難な状況にある中で、パンデミックの原因をつくったのはあの国だとか、ワクチンの製造で抜きん出ているのは我が国だとか、各国のトップたちの発想のなんと情けないことか。そんなことで覇権争いをしている間に、何も持たない貧しい国では人々が次々に死んでいくのを、彼らは何とも思わないのでしょうか。“想像力さえあれば人は必ず分かり合える”との信念のもとに、私は10年前に、母性保護論争に登場する与謝野晶子たち4人の女性を(史実がどうであれ)仲よくさせました。今回もその発想で『晶子からあなたへ』を書きました。大国同士が手を繋ぎ、持てる力を小さな国を救うために使って欲しい。私は今回の出来事を、ウイルスが人類に突きつけた警告だと捉えています。すべての生き物を支配するかのとき振る舞いを、臆面もなく続けてきた人類。森林伐採や野生動物の捕獲などで、他の生物が絶滅しようとも、人類さえ生き残ればそれでいい。ウイルスを人類の敵と捉え戦争だと表現した大統領。“人類がウイルスに打ち勝った証のオリンピック”と言ったどこかの首相。30億年も前に出現したウイルスには、たかだか20万年程度のホモサピエンスのやることなんて、ちゃんちゃらおかしいでしょうね。



ウイルスが人類の敵なのではありません。「差別」や「分断」を生み出す、人間の中に潜む悪意こそが敵なのです。想像力という人間にしかない宝物で、他者を理解することが、全人類に求められている課題ではないでしょうか。生物の中で人類の命だけが、あるいは世界の中で自国民の命だけが守られればよしとする捉え方を改めなければ、この後何度でも訪れるであろうパンデミックに右往左往することになるでしょう。一人一人が、自らの立ち位置を定め、未来に何を残すべきかを見極める力を持つことが必要です。流れに身を任せるのも一つの生き方ですが、私は、いつも、いつまでも、“おかしいと思うことにはしっかりと声をあげる”ひとでありたいと思っています。

### お知らせ

日本女性会議 2021 in 甲府  
未来へつなぐまちづくり人づくり  
～甲斐の国からともに～  
10/22(金)～10/24(日)

### お知らせ

令和3年度  
男女共同参画センター・  
大宮地区公民館  
合同まつり 中止



## 「そうだったのか」遅ればせながらの驚き ～『女性たちの保守運動』(鈴木彩加著)を読んで～

坂東 桂子

**女性は気づきの差はあれ**男女差別のない世の中を望んでいるものと思い込んでいたので、男女共同参画社会基本法に反対する女性が多いことに驚いた。

論文は集会や街頭活動、会報誌の中から、普通の女性たちの意識の底にある思考、言説や運動内部にある声を丹念に探り出し、ジェンダーに焦点をあてて考察している。料理教室での、桜模様の三角巾、韓国、中国産の野菜についての会話、慰安婦問題など、何気ない会話やジョークの中の、嫌韓、嫌中、家族像を拾う。男性の「慰安婦への婆ばー」呼ばわりに眉をひそめる女性会員。生の声の分析には説得力がある。日本の保守運動についての知識はゼロだったので新鮮で、元最高裁判判官や著名な知識人、多くの神社や仏教団体が保守運動団体に名を連ねているのに驚く。

**さて本書の紹介です** 第20回大佛次郎論壇賞の受賞論文で、1990年以降に日本社会において登場した「男女共同参画反対運動」と「行動する保守」という二つの女性保守運動体を取り上げ、運動の実態・内部のジェンダーと外部の社会構造との関係を考察している。両者は女性の発言が目立ち、「男女共同参画反対」や「慰安婦」バッシングに熱心に取り組んでいた団体である。読みにくければ終章から読むのも良いが、是非、中にも目を通して欲しい。保守運動組織の大きさ、政治とのかかわりの過程、ジェンダーの実態を知ることが、現在の日本を理解し、将来へつなげる一つの力ギになると思う。

**日本の保守運動団体の源流**は「日本遺族会」を始点とする、靖国神社公式参拝運動と元号法制化運動に携わった二つの団体だ。この保守運動団体は1997年に現在の「日本会議」に統一される。利益団体であった経過から、自民党の最大票田となる。同年に「新しい歴史教科書を作る会」が結成されている。1990年代から女性の参加が増え、2000年以降は男女共同参画社会基本法に反対する運動に「女性」たちが加わり活発となる。女性の活躍は保守運動史においては新しい現象であった。

**女性たちの保守運動を成立させた要因**として1990年代に草の根スタイルが作り出されたこと、性差別の強い保守運動の中で「女性」を強調して意見が言える「女性中心」の小グループが多数結成されたこと、ケアの社会的配分や男性活動家には正面から批判しにくい家族や性に関する係争課題が国際的にも浮上し、女性運動家が前面に立つ需要が生まれたことを挙げている。

**保守運動での「家族」の変質** 1990年代、初期の苦勞する母として評価される「母親」言説から「家族」が社会の秩序の基盤とする「家族の価値」言説に変質した。靖国神社法案の挫折後、運動を広く世論に訴え

る方策に転換した時期で、戦後を脱した社会形態の変化を背景に、夫と専業主婦と子どものいる家庭を理想の家族像とするものである。家族は社会の秩序を保つ基盤で家族を愛することは社会や国を愛すること、と政治につなげていった。

**バックラッシュ**とは1999年に保守系メディアから発せられた、男女共同参画社会基本法に対する「揺り戻し」反対運動のことである。この運動を「主婦派バックラッシュ」と「主流派バックラッシュ」に分類して考察した。両者の違いは「家族の価値」に対する理論とその主張者である。前者は家庭内ケアを引き受ける「主婦」たちで、家族関係が第一と性別役割分担を支持する。話題は家庭内に関する事で国家や社会を語っていない。後者は女性知識人や男性で「家族の価値言説」を強調し、社会秩序を解体するものとして男女共同参画社会基本法を政治的に標的にした。両者の違いは「地方」に対し「中央」という形で相対する。主婦でもあると語る女性知識人が二つの橋渡しをした。前者においては性を取り巻く立場や環境、ジェンダー、性差別の抑圧が背景にあることを指摘。活発な女性グループの活動は女性差別と抑圧の中で女性としての存在価値を示す場所を求めており、「慰安婦」問題においても共通の傾向があることを指摘した。

**女性活動家の両義的な面** 保守運動の中でのジェンダーは必ずしも一様でなく、保守運動の主流とは対立する側面がある。国家愛に賛同しながら、母・妻・嫁・主婦として生きることの閉そく感や困難、家族関係、ケアの大変さを語る。彼女たちは「性別役割分担」の中で、喘ぎながら、それを支持することで辛い経験を消化し、自分自身を納得させている。「慰安婦」を批判しながらも男性ジョークに賛同できない。ジェンダー面では両義性がみられる。

**ケア・フェミニズムとの交差性** 今日、男女共同参画社会基本法をはじめ変容する日本社会で、女性が働くようになった。家事、育児、介護といったケアの分配は家庭内の問題に留まらず、民間企業や公的領域にまで及んで来ている。このようなケアの依存関係は生涯において男女とも経験するものである。にもかかわらず、自立/自律した個人を念頭に置いて自由や平等を論ずる政治論はこのことを全く顧みなかった。米フェミニズムは自由で平等な主体像が男性中心主義からくるものであり、「私的な領域のケアは価値のない問題とされて来た」として、ケアを主点にフェミニズムを再考する必要があると述べる。日本人女性でいることを重視し、家庭内ケアを引き受ける女性保守運動家たちの理論はケア・



フェミニズムと交差する。彼女たちは日本での性差別に対する抑圧の強固さを背景にケア労働を行う中で、少しでも安全でいられる場所を「保守」しているのである。

**分断を克服するために** 人間を男性と女性に二分し、それぞれを公的領域、私的領域に割り当て、国家の内外に分割線を引く「ドメスティックイデオロギー」は女性たちの保守運動にもみられる。家庭内、国内という領域に留まることを選ぶ女性保守運動は性別役割分担の問題を論じないことでフェミニズム運動と乖離してゆく。ドメスティックな思考は家庭と外、日本と外を政治的に分断する。さまざまな分断を克服するためにはお互いの共通点を探し出し、政治的対立を超え、より良い政策形成をしていくことが必要だ。学習することで岸和田の女性がつながることを願う「岸和田女性会議」の活動は大変貴重な。税制度、夫婦別姓、ケア・フェミニズムが今後の焦点になると思われる。

## ダイジョウブがワタシ。 神藤 香

今年度お誘い頂き女性会議の役員として参加させて頂く事になり、総会、役員会と2回参加したところでハタと気が付いた。深く悩まず参加させて頂いたけど男女共同参画ってよく知らない、私ダイジョウブ?と、今更ながらに焦っていた時に原稿依頼を頂いた。

今までの浅い学びの中から感じた事、身近に思った事を引きずりだし、思い出しましたアンパンマン。話の前後は忘れたが、アンパンマンと食パンマンが女の子になるガスを吸ったとたん「おやめになって」「いやーん」と急にへによへによになったお話。丁度その頃ドラえもん映画にしずかちゃんの入浴シーンがあり、それに対してムカムカしていた時でこれはなんだ!と思っ子どもたちに何か一生懸命伝えたが、きょとんとしていた記憶がある。

今アニメ界がどうなっているのかググったら、『HUGっとプリキュア』では史上初の男の子のプリキュアが誕生したり、主人公たちの職場体験で「帝王切開も立派なお産」というワードが出てきたり、とここまで来た感があった。「男の子だってお姫様になれる!」と言う主人公の言葉に、心の柔らかい子どもたちにどれだけ素敵な効果があるか、を想像すると嬉しくなりました。

そんな単純な事が男女共同参画ではないと思うけれど、人がその人らしく生きてゆける社会。先日観た映画『ミッドナイトスワン』のような悲しい結末のない、また『RBG最強の85歳』のギンズバーグさんの女性やマイノリティの人権が当たり前になるような活動、ととらえて間違いないですか??

## あゆみ (3/26~9/1)

(4/25~6/20 緊急事態宣言期間中につき男女共同参画センター臨時休館)

・会計監査	4/4	<委員会への出席>	
・第33回総会	4/10	・平和を考える戦争展実行委員会	2回
・役員会	3回	・岸和田市社会福祉協議会理事会(書面開催)	5/27
・事務局会議	3回	・市制施行100周年記念事業実行委員会	7/8
・臨時事務局会議	2回	・生涯学習推進本部委員会	7/8
・広報編集委員会企画会議	4/24	・人権協会役員会(書面開催)	6/1
・広報編集委員会	6回	・人権協会幹事会	7/12
・女性学サークル	3回	・岸和田だんじり祭運営協議会	2回
・福祉部会	3回	・生涯学習審議会	7/20
・ワーク部会	2回	・テレビ岸和田放送番組審議会	7/26
・サロン・ドゥ・GOMI	2回	・介護保険事業運営等協議会	7/26
・悠遊・UBAステーション	3回	・男女共同参画推進審議会	7/28
・高校生課題研究「女性差別について」の質問に答える	7/14	・岸和田市総合計画審議会	7/30
・「選択的夫婦別姓」講演会	7/17	・人権協会総会	8/3
・水とみどり課との懇談会	8/24		
・広報102号発行・発送	9/1		

## お知らせ

### 2021年度 かしましフェスティバル 中止

**編集後記** たびたびの緊急事態宣言発令で、活動に制約のある中での発行となりましたが、『男女平等参画社会の推進』について、多くの方と共に学び合えるための『広報』として役立てればと思います。

(池田・貝塚・実川・竹末・中川・馬場・溝口)

## お知らせ

映画鑑賞と話し合い

### 『マダム・イン・ニューヨーク』



2021年岸和田女性会議男女平等参画社会推進事業

映画上映会&フリートーク

マダム イン ニューヨーク

2021 10/30 [土]

時間: 13:00~16:00 (受付12:30)

場所: 岸和田市立男女共同参画センター

定員: 60名 (申込不要・当日先着)

保育: 6名 (2歳~就学前幼児)

主催: 岸和田女性会議

TEL 080-4984-5226

とき

10月30日(土) 13:00~16:00

ところ

岸和田市立男女共同参画センター

会費受付中

個人会員…1000円

団体会員…2000円

\*問合せ 080-4984-5226